

パナソニック株式会社 A I S社 エナジー守口地区 合同消防訓練

平成29年6月12日(火)にパナソニック株式会社A I S社エナジー守口地区様におきまして、自衛消防隊と守口消防署消防隊による合同消防訓練を実施しました。



当日は、梅雨の時期にも関わらず、空が抜けるような、澄み渡る青空に包まれ、正に絶好の訓練日和となりました。

A I S社エナジー守口地区の皆様にあっては、自衛消防大会に出場されるなど、平素から火災予防に対する意識が高く、本訓練においても、凄まじい迫力で活動されておりました。



「自分のところは自分で守る！」
これが火災予防のために一番大切なことだね！



合同訓練終了後は、講堂に場所を移し、危険物保安業務、そして防火防災管理業務の促進のため、予防査察係による講義を「防災3本の矢(※)」と題して開催させていただきました。

① いざ、初期消火へ！



② 自衛消防隊による放水



③ 消防隊への情報提供



④ 消防隊による放水



⑤ 消防訓練 講評



⑥ 講義



パナソニック株式会社A I S社エナジー守口地区の皆様には、今後も更なる火災予防に努めて頂きたいと思っております。

これからも、「災害に強い町、守口門真」を目指し、様々な活動を通じて火災予防を呼びかけてまいります！

※ 「防災3本の矢」とは？

「正常性バイアスの心理」

「集団と群集の違い」

「ハインリッヒの法則」

「正常性バイアスの心理」ってなに？

- ・ 人は予期せぬ事態に直面したとき、脳がパニックにならないように、「自分は大丈夫、これくらいだったら大丈夫。」と思い込ませてしまう人間の脳が持つ特性のこと。

例：健康診断で二次検診を受けてくださいと言われたが、日常生活でも支障は出ていないので、これくらいだったら大丈夫と思い、二次検診を受けなかった。

「集団と群集の違い」ってどんなもの？

- ・ 集団・・・一つの目標に向かって統率が取れている人の集まり
- ・ 群集・・・一人一人に役割がなく、統率が取れていない人の集まり

例：テパートのバーゲンセールで買い物かごに人が集まっている状態は群集であり、統率が取れておらず、パニックに陥りやすい。

「ハインリッヒの法則」ってなに？

- ・ 1つの大きな事故が発生するまでには、29回の小さな事故が発生しており、さらにその前兆として、事故にはなっていないがヒヤとする事案が300件も発生しているという統計学的に調べた法則のことです。

「赤信号、みんなで渡れば怖くない」って言葉は知ってますか？

実は、この言葉には、「防災3本の矢」の心理が働いているんだよ！！



「正常性バイアスの心理」・・・ 赤信号は渡っちゃいけないけど、車がないからこれくらいなら大丈夫！

「集団と群集の違い」・・・ みんなで渡れば、怖くない！

「ハインリッヒの法則」・・・ ヒヤっとすることもあったけど、事故には繋がっていないし、大丈夫！

よく知る言葉だけど、その中には「防災3本の矢」の心理が働いてるんだ！
実は、事故というのは起こるべくして起こってしまってるんだね！